

授業科目	比較文化と国際理解				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10404J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1			
担当教員	東 彩子							
授業概要	<p>比較文化と国際理解を考えるにあたって、本講義は、起こってしまった紛争や対立を、どのように解決するのか、あるいはより大きな対立に発展させないためにはどうすればいいかという問いをもとに議論を進める。国際関係上のもっとも大きな関心ごとのひとつである戦争や紛争の原因については、経済的対立、文化や宗教的対立に原因を見出す研究もあるだろう。本講義では特に、異文化理解に重点を置きながら、この問題を考えていきたい。</p> <p>グローバル化のなかで国家や国境の存在感が薄らいでいるといわれるが、近代国家制度が誕生したのも人類史 20 万年でいえばごく最近である。つまり現在のような国家制度に生きる一方で、私たちの脳を含む身体は依然として変化していないのである。このような身体を抱えながら、人間はこれまでどのように他者を理解し、他集団と接してきたのだろうか。そして現代社会においてはどのように接すれば、異文化に生きる他者を理解することができるのだろうか。これは多様な文化的(家庭的・国際的・個別的)背景を持つ他者との接触がますます多くなる現代において、重要な視点である。</p> <p>本講義では、文化衝突に関するいくつかの個別の題材について、文献や映像、インターネットなどのメディアを活用しながら、比較文化と異文化理解の手法と考え方のエッセンスを学ぶ。「異文化(他者)を理解する」とは、「自らがどのような概念にとらわれているか」に気づくことである。その気づきのために、本講義では常識にとらわれない活発な発言・議論を求める。往々にして明確な「答え」はないので、講師の持っている答えに合わせたり、コメントを聞いたりして安心するのではなく、積極的に問いを展開することを推奨する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>国や文化を超えた相互理解の可能性を知る。</p> <p>自ら意見を述べ、議論に参加することができる。</p> <p>授業を通じて、学生自身が新たな発見をする。</p> <p>異文化理解と他者理解について自分なりの意見を持つ。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	30	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			40	20	0	10	70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	10		10	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通じて、独創的な発見をする。</li> <li>・異文化理解や他者理解について自分なりの意見を持ち、発信することができる。</li> <li>・国際関係上の当事者として自ら考え、積極的に議論に参加し、議論の発展を促すことができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化理解や国際関係上の問題に興味を持ち、調べることができる。</li> <li>・異文化や他者理解の重要性を知り、日常生活においても考え続ける。</li> <li>・文化理解の当事者として、自ら考え、議論に参加することができる。</li> </ul>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 他者理解とフィールドワーク ① 他者理解のための学術的な方法論について、歴史的経緯と手法を解説する。	講義	講義内容の確認	10
2	テーマ: 他者理解とフィールドワーク ② 「捕鯨問題」について、映画や文献をもとに、文化的背景の違いによる衝突について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
3	テーマ: 他者理解とフィールドワーク ③ 「捕鯨問題」について、映画や文献をもとに、文化的背景の違いによる衝突について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
4	テーマ: 他者理解とフィールドワーク ④ 「捕鯨問題」について、映画や文献をもとに、文化的背景の違いによる衝突について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
5	テーマ: 真実・現実・物語① 紛争に関する語りに現れる人々の認識を、真実・現実・物語の三つの観点から解説する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
6	テーマ: 真実・現実・物語② バヌアツ共和国エロマンガ島におけるパンデミック被害に起因する葛藤と和解について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
7	テーマ: 真実・現実・物語③ バヌアツ共和国エロマンガ島におけるパンデミック被害に起因する葛藤と和解について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
8	テーマ: 真実・現実・物語④ バヌアツ共和国エロマンガ島におけるパンデミック被害の背景となる植民地支配とグローバルな社会構造について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
9	テーマ: 他者としての自文化① 近世以前の日本について、文献や映像を中心に解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
10	テーマ: 他者としての自文化② 「オウム真理教」に関する映像や文献をもとに、現代日本社会の特徴について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
11	テーマ: 他者としての自文化③ 「オウム真理教」に関する映像や文献をもとに、現代日本社会の特徴について解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
12	テーマ: 他者としての動物① 動物の世界や文化と比較し、生物としてのヒトの道徳性や正義について、共感と公平性を中心に解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
13	テーマ: 他者としての動物② 動物の世界や文化と比較し、生物としてのヒトの道徳性や正義について、認識的限界を中心に解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30

14	テーマ:他者としての動物③ 相対的な道徳性や正義について、現代的な課題を解説・議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
15	テーマ:授業のまとめと発表 授業のテーマに関して、学生が持つ感想・発見・新たな問いについて発表し、それをもとに議論する。	講義/映像鑑賞/ディスカッション	授業で紹介された文献や映像に関する社会背景や議論の内容を確認する	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特別な技能は必要ありませんが、自らを多用な社会問題の当事者と考えたり、他者理解について興味関心を持つことが必要となります。興味がない場合には、講義の内容は退屈なものになるかもしれません。さらに、議論に参加し発言する意欲も必要です。			
テキスト	佐々木芽生(2017)『おクジラさま ふたつの正義の物語』集英社 そのほか、講義では映像やスライドを活用します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書 『野研！大学が野に出た』九州大学出版会 2017 『逝きし世の面影』平凡社 2005 『A3』集英社 2010(無料公開版: <a href="https://note.mu/morit2y/n/nde972b9f0eac">https://note.mu/morit2y/n/nde972b9f0eac</a> ) 『共感の時代へ 動物行動学が教えてくれること』紀伊國屋書店 2010			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義で取り扱わないけれども、理解を深めるために適宜文献や映像を紹介します。 大学生のうちに、できるだけたくさん読んだり観たりしてください。			

達成度評価に関するコメント	その他(20%)は、講義中の発言内容です。量(積極的かどうか)と質(議論の貢献度)によります。本講義では、学生の発言を理解への貢献と捉えます。積極的に議論に参加し、意見交換してください。「誰の言っていることが正しいか」よりも、「他者の意見の何が参考になるのか」を基本に、自分で問いを立て、考えることが成長につながります。いっしょに議論し、いっしょに成長しましょう。
---------------	--